

# 岩木川ダム 統管だより

010号  
2018年  
2月28日



ライトアップにより闇夜に幻想的に浮かび上がった『乳穂ヶ滝』 平成30年2月20日撮影

平成30年2月18日（日）、西目屋村名坪平地区の県道岩崎西目屋弘前線沿いの乳穂ヶ滝において、滝の結氷により農作物の豊凶を占う『乳穂ヶ滝氷祭』が開催されました。乳穂ヶ滝は、青森県のパワースポットとしても紹介されており、高さ33mの滝が見事に結氷した姿は圧巻の一言に尽きます。毎年この時期は、滝のライトアップも実施しており、この幻想的且つ神秘的な光景を一目見ようとたくさんの観光客が県内外から訪れていました。



今年の豊凶を占う神事の様子

津軽白神湖  
Tsugaru-Shirakami-Lake

## 【豆知識】

「乳穂ヶ滝」は、高さ33mの白絹のような滝で、冬に、稲を乳穂（にお）積みにして乾燥させるような形で氷結することからこの名が付けました。

「乳穂ヶ滝氷祭」は、毎年2月第3日曜日に開催されています。



津軽ダムキャラクター  
パッカー君



# “浅瀬石川ダム”冬の特別見学会



実際に「雨量観測器」に触れていただきました。



普段の見学会では見られない「クレストゲート管理橋」

平成30年2月3日（土）、浅瀬石川ダム“冬の特別見学会”を開催しました。県内外から3名が参加し、少人数ではありましたがその分密度の濃い見学会となりました。通常の見学コース以外にも、ゲートの真上に架かるクレストゲート管理橋や、操作室などへも案内しました。操作室では「アメダス」で知られる雨量観測器を使い、実際に水を流して雨量の測り方を体験してもらいました。

湖面は凍り、真っ白に雪化粧をまとった浅瀬石川ダム。参加者たちはこの時期にしか見られない特別な風景を、思う存分堪能していました。

# 小嵐山 黒石温泉郷雪まつり “雪の降るさと 2018”

平成30年2月3日（土）～12日（月）の期間、小嵐山黒石温泉郷雪まつり“雪の降るさと2018”が津軽伝承工芸館を会場に開催されました。初日のオープニングイベントとして、津軽三味線のライブや冬花火が打ち上げられ、集まった多くの観客を魅了しました。期間中は雪を使った各種催し物や特設ステージが設けられ、冬の生活では頭を悩ませる雪も、この期間中だけは訪れた多くの市民や観光客を楽しませていました。



《個性豊かな雪だるまが多数出現！  
雪だるまワールド♪》



《人もこけしも？！花火を堪能！冬花火》



# 冬の“津軽ダム見学会”

平成30年1月18日（木）、新年最初の“津軽ダム内部の見学会”を実施しました。弘前市からお越しの22名の団体さんです。

冬も本番になり、道路も圧雪・アイスバーン状態になった事からか・・・ダム見学の回数も夏場に比べると、めっきり減少傾向でした。そんな中、防寒服に身を包んだ参加者からは「良い体験をさせてもらった」「外はあんなに寒いのにダムの中は、あったかいんだね」「目屋ダムが見られて良かった」と感動の声を聞かせていただきました。



千年地区水資源環境を守る会の皆さん  
(1.18)



取水塔を1周して、目屋ダムの天端を見て、昔の記憶を呼び起こしていました。



無線局舎から監査廊へ・・・  
98段の長い階段をゆっくりと下りました。



コンジットゲート操作室では、津軽白神湖で起こる濁水について、職員の説明に熱心に耳を傾けていました。

## ～ ニシメヤ冬フェスティバル n2018



平成30年2月11日（日）白神ビジターセンターにおいて、「ニシメヤ冬フェスティバル n2018」（目屋観光協会主催）が開催されました。

西目屋村で毎年冬に行われている「乳穂ヶ滝氷祭」とタイアップし、一昨年の冬から、冬期間の誘客を図ることを目的として開催されています。

冬フェスでは、毎年大人気のスノーラフト、雪の巨大滑り台、ミニ四駆走行フェス、さらに今年は青森大学忍者部による忍者ショー＆忍者体験、カキ氷早食い競争が新しく増え、家族で楽しめる催しが数多く行われました。

陽が落ち始めると、4千個以上使用したLEDイルミネーションやペットボトルで会場がライトアップされ、雪が降る寒空の下、一日中来場者の足が途切れることはありませんでした。

【ライトアップ】



【青森大学忍者部のショー】



【もちつき&無料ふるまい】



【スノーラフト体験】



【カキ氷早食い競争】





浅瀬石川ダム、津軽ダムの統合管理記念第4弾として、「冬のライトアップ・2018」を実施しました。浅瀬石川ダムは、平成30年2月3日（土）～12日（月）までの10日間、黒石市「雪の降るさと2018」開催にあわせてレインボーカラー、津軽ダムは、平成30年2月3日（土）～18日（日）までの16日間、西目屋村の「乳穂ヶ滝氷祭」とタイアップし、カラーは時間毎に色が変化する「お楽しみ」として実施しました。雪化粧をまとい、巨大な白いキャンバスと化したダムの幻想的な光景に、見とれているご夫婦の姿が印象的でした。

冬も  
ダム内部見学  
受付中!



浅瀬石川ダム・津軽ダムでは、  
冬もダム内部の見学を受け付けております。

コースは、降雪により夏場と同じとはいきませんが、“意外にあったか〜い”ダムの中を見学し、体感してみたいはいかがですか？詳しくは、岩木川ダム統管事務所HPをご確認ください。

<http://www.thr.milt.go.jp/iwakito/>

★ 編集後記 ★

新年を迎え嬉しい年賀状が届いておりました。静岡の方からですが、「主人と両親のふる里・西目屋村。生存していたら毎月のダムだより嬉しく拝見していたと思います。」という内容です。“岩木川ダム統管だより”の発行も今回で第10号となります。発行する側の自己満足になっていないか？と自問自答しつつ、①対象は誰か②字を少なく③写真を多く④専門用語は極力使わないという自分なりのルールを進めてきましたが、方向性は間違っていなかったと自信になりました。今後も“旬”な話題をレスポンス良く提供できるよう努力していきます。間もなく3月。春はすぐそこまでやっています！（船水）

編集・発行

国土交通省 東北地方整備局  
岩木川ダム統管事務所

〒036-1422  
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平字  
寒沢138-2

TEL 0172-85-3035  
FAX 0172-85-3061

岩木川ダム統管事務所  
ホームページアドレス  
<http://www.thr.milt.go.jp/iwakito/>

